

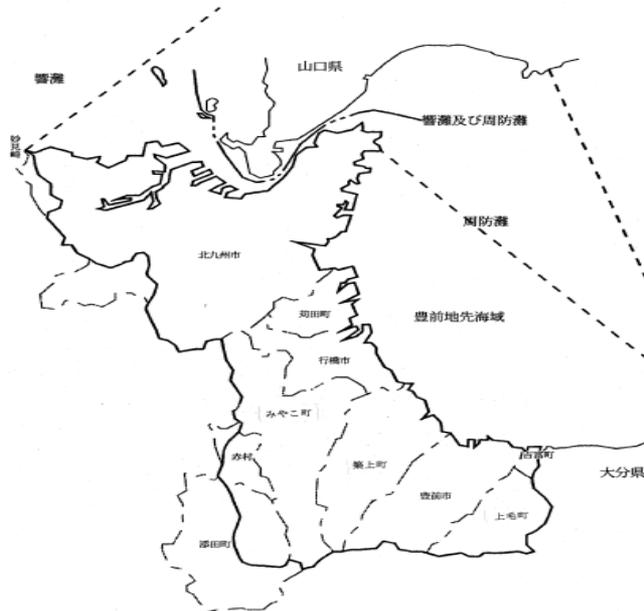
瀬戸内海の環境保全に関する福岡県計画について

- 計画対象地域
- 計画の目標
- 水質の状況
- 福岡県の施策
 - 2(3) 自然景観の保全(史跡、名勝、天然記念物の保全)
 - 3(2) 浅海域の保全等(自然海浜の保全等)
 - 6 廃棄物の処理施設の整備及び処分地の確保
(廃棄物の発生抑制、再使用、再生利用)
 - 7 健全な水循環機能の維持・回復(海域)
健全な水循環機能の維持・回復(陸域)
 - 14 環境保全思想の普及及び住民参加の推進

計画対象地域

北九州市の一部、行橋市、豊前市、苅田町、みやこ町、築上町、上毛町、吉富町、添田町の一部、赤村の一部

県計画対象地域



瀬戸内海環境保全特別措置法による対象区域
環境省HP



計画の目標

○ 水質の保全等に関する目標

- 水質環境基準の達成及び維持
- 赤潮発生の防止
- 人の健康に有害な物質による底質の悪化の防止及び生活環境に影響を及ぼす底質への適正な措置
- 藻場及び干潟の保全
- 自然海浜等の好適な状態での保存

○ 自然景観の保全に関する目標

- 自然景観の適正な保全
- 海岸部等の草木の緑の適正な保護管理
- 自然海岸の適正な保全
- 海面及び海岸の清浄保持
- 文化財の適正な保全

水質の状況

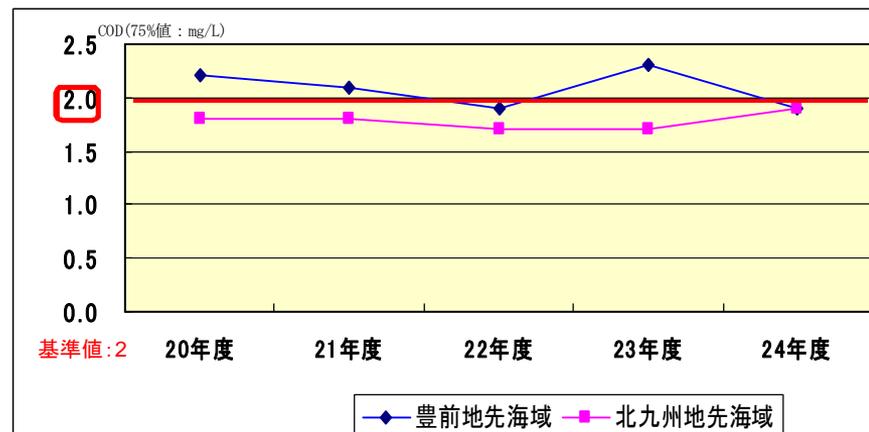
○ COD

・ 環境基準達成状況

(注)1 ()内数値は、環境基準達成地点数を示す。
2 COD(75%値)の達成状況を示す。

水域名	測定地点数	達成率 (%) 及び達成地点数				
		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
豊前地先海域	4	25.0 (1)	50.0 (2)	75.0 (3)	0 (0)	75.0 (3)
北九州地先海域	6	100 (6)	100 (6)	100 (6)	100 (6)	100 (6)

・ 水質の推移



※ 一部環境基準未達成の地点があるが、数値的には横ばい傾向で推移しており、引き続き環境基準の達成に努めていきます。

○ 全窒素、全燐

・ 環境基準達成状況

(注) ()内数値は、環境基準達成水域数を示す

水域名	水域数	項目名	達成率 (%) 及び達成水域数				
			20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
豊前地先海域	1	全窒素	100 (1)	100 (1)	100 (1)	100 (1)	100 (1)
		全燐	100 (1)	100 (1)	100 (1)	100 (1)	100 (1)
北九州地先海域	2	全窒素	100 (2)	100 (2)	100 (2)	100 (2)	100 (2)
		全燐	100 (2)	100 (2)	100 (2)	100 (2)	100 (2)

※ 全水域で環境基準を達成しており、今後も維持されるよう努めていきます。

2(3) 自然景観の保全～史跡、名勝、天然記念物の保全～

文化財保護法に基づき指定されている史跡、天然記念物ができるだけ良好な状態で保存されるよう、関係法令に基づく規制の徹底を図るとともに、保存修理、環境整備等の保護事業を実施しています。

○ 事業実施例(自然公園整備事業)

国指定天然記念物・北九州国定公園に指定されている平尾台の自然歩道の環境整備を実施しました。

- ・ 事業主体 福岡県
- ・ 工事名 九州自然道(平尾台ルート)再整備
- ・ 工事概要 歩道整備一式(丸太階段、土留、侵入防止柵、標識、案内板等)



2(3) 自然景観の保全～史跡、名勝、天然記念物の保全～

○ 事業実施例(天然記念物再生事業)

国指定天然記念物「本庄のクス」の樹勢回復を目的とした剪定や土壌改良を実施しました。

- ・ 事業主体 築上町
- ・ 事業内容 根系調査、土壌改良、支障木の伐採、支柱撤去等

名称	構造形式及び寸法	所在地	指定年月日	備考
本庄のクス	クスノキ(クスノキ科) 樹高 25.8m 主幹胸高周囲 0.78m 地際部周囲 31.78m 枝張り E:8.3m W: 14.5m S:9.8m N:11.4m (平成8年度調査資料による) *現在3本の鑄鉄製支柱と2本のコンクリート支柱で支えられている。	築上町 大字本庄 1641番1	大正11年 (1922年) 3月8日	大楠神社境内に所在する



酸素管設置



根系養生



3(2) 浅海域の保全等～自然海浜の保全等～

瀬戸内海の自然海浜は、海水浴場、潮干狩り場等の自然とのふれあいの場や地域住民のいこいの場として多くの人々に利用されており、できるだけその利用に好適な状態で保存されるよう以下の施策を実施しています。

- ・ 瀬戸内海の自然海浜3か所を「自然海浜保全地区」に指定し、自然豊かな環境の保全に努めています。
- ・ 自然海浜保全地区において、漂着ゴミ等の収集及び処理業務を関係市に委託して実施しています。

福岡県自然海浜保全地区一覧

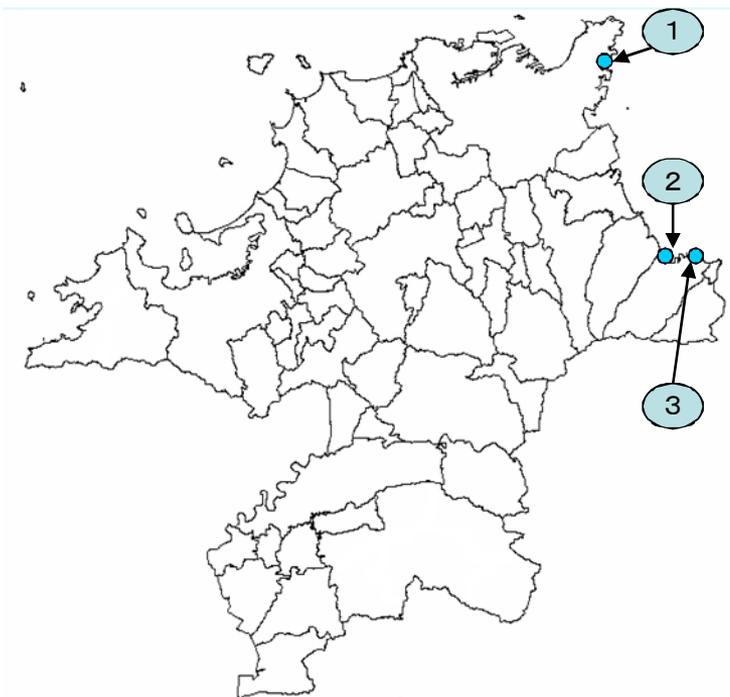
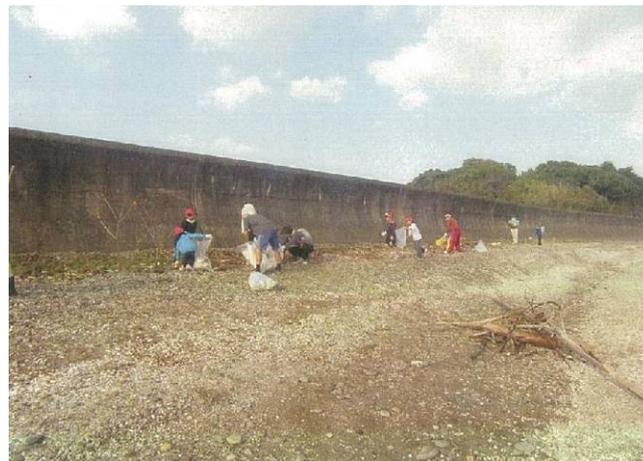
自然海浜 保全地区名	位 置	海岸延長	特 質	指 定
喜多久	北九州市門司区大字喜多久	1.2km	トベラ、マサキを優占種とした海岸林が良好な状態で生育する自然海浜	S57. 3. 6
三毛門	豊前市大字沓川及び三毛門	2.0km	なだらかな礫混じりの砂浜が発達し、大潮時には浅海性の周防灘沿岸有数の広大な干潟が現れる。	S57. 3. 6
松江浦	豊前市大字松江	1.0km	なだらかな礫混じりの砂浜が発達し、大潮時には広大な干潟が現れる。	S62. 12. 24

3(2) 浅海域の保全等～自然海浜の保全等～

松江浦自然海浜保全地区



清掃活動の様子



- ① 喜多久自然海浜保全地区
- ② 松江浦自然海浜保全地区
- ③ 三毛門自然海浜保全地区

6 廃棄物の処理施設の整備及び処分地の確保～廃棄物の発生抑制、再使用、再生利用～

瀬戸内海の家浜が清浄に保持されるよう、廃棄物の発生抑制、再使用、再生利用の促進のため、下記の事業を実施しています。

○ 「3R(リデュース・リユース・リサイクル)の達人」の派遣

地域や職場、学校等において開催される3R教室に、3Rの達人を派遣する事業を実施しています。

○ 「ごみ減量化・リサイクル」ポスターコンクールの開催

県内の小学校・中学校・高等学校等に在籍する児童・生徒を対象とし、「ごみ減量化・リサイクル」をテーマとしたポスターを募集しています。

H24年度入賞作品

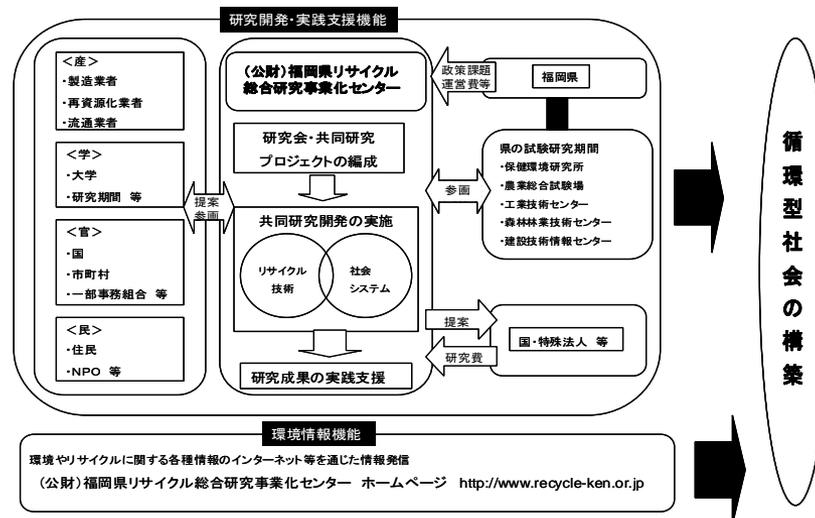


○ マイバックキャンペーン等の実施

レジ袋の削減等に取り組み、ごみの減量化を推進するために毎年10月を取組強化月間として、マイバック持参者に対しシールやスタンプの付与、キャッシュバック等を行う「一斉行動参加店」を募集し、取り組みの強化を図っています。

○ リサイクル社会構築のための研究開発

(公財)福岡県リサイクル総合研究事業化センターで、廃棄物の特性に応じたリサイクル技術と併せて、効果的な分別収集システム等の社会システムを開発し、その実践支援を行っています。



7 健全な水循環機能の維持・回復(海域)

瀬戸内海的环境保全を図るため、海域で下記の事業を実施し、水循環機能の維持・回復に努めています。

○ ムラサキガイを利用した海水浄化のための実証研究

- ・ 目的
閉鎖性の強い地形である洞海湾の「富栄養化」の軽減
- ・ 方法
水中の窒素やリンを体内に取り込んで増殖した植物プランクトンをムラサキガイに摂食させ、成長したムラサキガイを陸上に引き揚げ回収することで赤潮を防除するものです。
- ・ 実用性の検討
洞海湾に筏型の環境修復実証実験施設を設置し、水質浄化調査、回収したムラサキガイの堆肥化実験、施設に蝸集する魚類調査を実施しました。
- ・ 検討結果
施設が水質浄化能力を有すること、生物の新たな棲み場を作ることができること、ムラサキガイの堆肥化により物質循環の促進が図れることが確認できました。



7 健全な水循環機能の維持・回復(海域)

○ スラグ人工石を用いた藻場再生の取組

- ・ スラグ人工石の活用

鉄鋼副産物を主原料とするため、省資源化やCO2排出量抑制に寄与できます。

大きさや形の自由な形成が可能です。

市内で製造されるため、自然石やセメントと比較して製造・輸送・設置までの過程を通してCO2排出量の低減が期待できます。

- ・ 試験藻場礁の造成

平成22年度

- ・ 海藻の生育状況

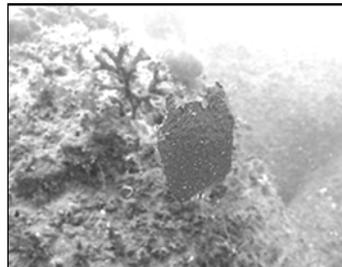
ツルアラメやワカメの成育が認められました。(平成24年2月調査)

※ 今後も調査を継続し、沿岸域での有効性を確認した後に積極的な利用を考えています。

スラグ人工石



スラグ人工石上のツルアラメ



スラグ人工石上



7 健全な水循環機能の維持・回復(陸域)

○ ふるさとの川整備事業

河川本来の自然の整備・保全や周辺の景観との調和を図りつつ、地域整備と一体となった河川整備を行い、良好な水辺空間の形成を図るものです。

【事業実施河川:紫川(上流部)】

周辺の自然を生かしながら、景観に配慮した自然豊かな護岸を整備しています。

○ マイタウン・マイリバー整備事業

大都市の中心市街地及びその周辺地のうち、改修が急務でありかつ良好な水辺空間の整備の必要性が高く、また、周辺の市街地の状況から見て、沿川における市街地の整備と合わせて河川改修を進めることが必要かつ効果的と考えられる河川について、水環境の向上に配慮した河川改修を行うものです。

【事業実施河川:紫川(河口部)】

市民の憩いの場として、親水性の高い水辺空間を整備しています。



14 環境保全思想の普及及び住民参加の推進

県民に対して、瀬戸内海の環境保全についての正しい認識を広めるとともに、環境保全に向けた取組について、住民参加の推進に努めています。

○ 水辺の教室

小学生を対象に河川や海の水環境についての学習を行い、小学校付近の川で現地体験を行いました。

川に生息する水生生物を調査し、自然を守る取組みや水を汚さないための取組みの大切さを学びました。



○ シーグラスを使った環境学習イベント

海岸に落ちているガラス(シーグラス)を使ったキャンドルホルダー等の講座を開催し、漂着物やシーグラスを通して、生活(ごみ)と自然環境(海)の関係等を考察しています。



14 環境保全思想の普及及び住民参加の推進

○ ムラサキイガイを使った洞海湾の環境修復体験教室

小学生を対象とした環境学習プログラムで、参加した小学生達は、実証施設でマイロープの吊り下げ、付着生物の観察、水質の調査、ロープの引き揚げ、ロープに付着したムラサキイガイでの堆肥づくり、植物の栽培までを体験します。

洞海湾の歴史や環境、生物などを総合的に学ぶことにより洞海湾の水環境に関心を持ち、自然を大切にすることを育んでいます。



○ 平尾台自然観察センターで実施する環境美化活動

企業、地域住民、団体、一般個人参加、センターボランティアが参加し、ゴミ拾いを実施しました。

古いビンや缶類等軽トラック5台分のゴミを回収しました。

【福岡県平尾台自然観察センター】

我が国有数のカルスト台地平尾台に位置し、自然保護の拠点として、自然の仕組みや自然公園利用のマナーを学ぶため展示やシアターなどを設置しているほか、各種自然観察会などを実施しています。



ご清聴ありがとうございました



福岡県マスコットキャラクター
エコトン